

令和5年度 授業創造プラン

4年

教科	児童の実態（Gテストを含む）	具体的な取組【評価の観点】
国語科	・漢字の読み書きは繰り返し学習することで少しずつ定着している様子が見られる。（G テスト平均得点率78％） ・登場人物の心情を捉えることができる児童が増えてきている。（G テスト平均得点率76％） ・説明文などの問題の意図を理解して、文章を読むことに課題がある。（G テスト平均得点率34％） ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ることができない児童が多い。	・漢字の学習方法を見直し、家庭学習の進め方、漢字小テストに向けての練習の中で、新出漢字を活用することを定着させていく。 ・「世界にほこる和紙」では、段落ごとに大切な言葉を押さえ、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力を育む。 ・「もしものときにそなえよう」では、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。また、進んで調べて自分の考えをもち、読む人に分かりやすく伝わるような文章を書く力を身に付ける。
算数科	・基本的な四則計算については、おおむね理解している児童が多い。（G テスト平均得点率83％） ・図形の学習において課題が見られる。（G テスト平均得点率円:59％ 球:44％ 二等辺三角形:61％） ・図や式を使って考えを説明しようとする意欲はあるが、分かりやすく説明することに課題がある児童が見られる。（G テスト平均得点率74％）	・「垂直、平行と四角形」では、直線の平行や垂直の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形について理解するために、自力解決の時間とペア学習などを取り入れ、考えを広め、深める時間となるようにする。 ・「面積のはかり方と表し方」では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、交流させることにより、共に学ぶ力を高めることで思考力、判断力、表現力を向上させる。さらに、習熟度に合わせ、スモールステップで「できた。」「分かった。」を実感させることで意欲を高めさせる。